

News Letter

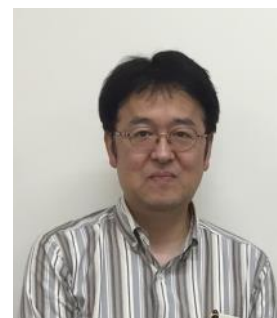
vol.18
2018. 10月号

毎月発行

今月のよっしー

嬉しいNEWSが飛び込んできました。当講座が主催する総合診療プログラム（3年間）の第1期生三浦先生（都城出身）が無事家庭医（総合診療医）専門医試験に合格されました。これもご指導をいただきました関係者（串間市民病院・県立日南病院・中部病院・都城市郡医師会病院・他）の皆様のおかげです。厚く御礼申し上げます。日本の中では小さな一歩かもしれませんが、Miyazakiでは大きな一歩と考えています。これからの時代を支える大きな柱であり、タイやへき地においても、都市部においても大きな役割を演じると信じております。

今月末から新しい実習（地域包括ケア実習）が始まります。県内各地で奮闘されている皆様のもとで医学生が学ぶことができることを本当に嬉しく思います。現地の皆様には大きな不安があるかと思いますが、必ずや希望の光になると信じております。平成最後の年に歴史的な転換点となったと後世に言えるようにただただ奮闘していきますのでよろしくお願い申し上げます。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介「椎葉村国民健康保険病院」

椎葉村国民健康保険病院 院長 吉持 厳信 先生

当院は一般的な外来入院業務のほか、椎葉村内の24時間365日の救急医療、学校保健や予防接種、老人保健施設の医療管理、村内各地への訪問診療および訪問看護と、3か所での巡回診療など幅広い業務を行っている。当村も過疎、少子高齢化の中心にある。

複雑系のフラクタル理論から類推すると、対象人口が少なくても疾患の構成比率は全体のフラクタルとなり、「全体の構成比率に分散の大きい形」で近づくとなる。確かに最近の入院患者の分析からも肺炎や尿路感染症、急性心不全、脳梗塞急性期、熱中症、脱水症、熱傷、外傷などの急性期病棟に相当する患者さんや、骨折治療後、脳卒中後、急性冠動脈症候群治療後のリハビリ患者さんなど回復期病棟（地域包括ケア病棟）に相当する患者さん、さらには独居高齢者で急性期疾患後急激にADLが低下し、独居が困難になられた患者さん、あるいは悪性疾患の末期で緩和ケアが必要な患者さんなど月単位で入院が必要な患者さんなど入院患者さんの対象が広範囲にわたっていることがわかる。近隣に他の入院施設があればそういった施設と連携して病院の機能分化を行うことは効率的なことだと思われるが、当院の場合はどうすればよいのだろうと悩んでしまう。当院を訪れた多くの方が「“医療の原点”のような仕事ができる場所ですね。」



といてくださる。マクニールの世界史にあった言葉だったのでしょうか「文明とは分業化（専門化）」という言葉を読んだとき椎葉の医療は文明化してないのか。それで「医療の原点」か、とひとり納得したことがあった。椎葉で行われているような医療は「絶滅危惧医療」か、と少し悲しくなった。その時心の中で反論した。椎葉の医療だって分業化している。疾患や病像などに関しては分業化していないが、対象が「椎葉村民」に限定され、専門化している。異なる角度で文明化している。当院は椎葉村民にとっての世界一のかかりつけ病院を目指しています。



タイ王国・Bobo先生の研修が修了しました。

タイ王国・プリンス・オブ・ソンクラ大学（PSU）のFamily Medicine研修医Dr.Pattamas Ruanpech（通称：Bobo先生）が、9月3日（月）～9月27日（木）まで当講座に研修で来てくれました。

最初の2週間は串間市民病院にて、当講座の指導医や専攻医の先生と一緒に日本の地域医療や地域の文化などを、食事や観光も楽しみながら学んでもらいました。次の3週目は日南（日南市立中部病院・にちなんファミリークリニック・県立日南病院）、都農（都農町国保病院）、高千穂（高千穂町国保病院）で研修をしてもらいました。中部病院ではリハビリや訪問診療、にちなんファミリークリニックでは日本の家庭医クリニック診療、県立日南病院では研修医の研修の様子、都農町国保病院では新病院の設備など、高千穂町国保病院では山間部の地域医療をどう支えているか、といったことなどを見てもらいました。県立日南病院と高千穂町国保病院では、タイの医療システムについてBobo先生に講演をしてもらいました。また、それぞれの地で観光や懇親会も楽しんでいただきました。連休の週末は、専攻医の先生方と一緒に県内の観光地巡りをしたり、医学生とともに三股町の高齢者福祉施設の秋まつりに参加したりと、秋の宮崎を楽しんでいただいたようです。最終週は宮崎市立田野病院での研修をしていただき、9月26日（水）に送別会（Farewell Party）を企画しました。宮崎大学医学生よりFMIGの紹介、Bobo先生からMedical System & Medical Education in Thailandの講話、最後に当講座から修了証をお渡ししました。Bobo先生、4週間お疲れさまでした。また、受け入れていただいた医療機関や関係者の皆さま、ご協力いただいた皆さま、大変お世話になりました。ありがとうございました。



第2回地域包括ケア実習指導者講習会を開催しました。

10月6日（土）、第2回地域包括ケア実習指導者講習会を開催しました。台風25号の影響により開催が危ぶまれましたが天候は改善し、追加を含め、県内各地から80名ほどの指導者にご参加いただきました。

○第1部「これで安心!?実習受け入れ総おさらい」

第1回のふりかえり、前回あった質問や要望への回答、実習仕掛け人による実習受け入れ模擬演技、医学生が可能な医行為の説明、医療圏ごとグループでの実習プログラム話し合い

○第2部「地域での医学生指導Tips」

実際行っている実習や指導の紹介、第1部でアンケートした実習内容への提案や疑問への回答、レクチャー「評価とフィードバック、困った学生の対応」、再度グループでの話し合い

グループ内の話し合いでは、各グループとも活発な意見交換をしていただきました。

10月29日より、全学生4週間必修の地域包括ケア実習（クリクラⅡ・地域医療実習）がいよいよ始まります。実習が始まらないと分からない部分もありますが、各実習先へ教員が現地訪問するようにいたします。一緒により良い実習をつくっていただければと思います。

また春休み期間中に第3回講習会として、受け入れしての感想や課題などを共有する機会をつくればと考えています。県内関係者のみなさま、引き続きよろしくお願いいたします。



講座のイベント情報

●レジデント・デイ

10/26（金）18:00～ 場所：串間市民病院

●多職種連携教育コーディネーター養成講座

11/23（金・祝）～11/24（土）

場所：コテージ・ヒムカ

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

